

令和元年（2019年）6月 浅草岳・守門岳・磐梯山 山行報告

1. 山行期間：令和元年6月15日（土）～22日（土）

2. 参加者：加藤 律子・鉄井 良子・田村 万里子・岡村 真由美・岡村 繁雄

3. 行程：

6月15日

五色沼 散策

ホテル リステル猪苗代 本館コンドミニウム [泊]

6月16日

会津市内観光【会津若松城・御薬園・飯盛山（さざえ堂）・七日町通り】

ホテル リステル猪苗代 本館コンドミニウム [泊]

6月17日

磐梯山 [1,816m] 登山〔八方台登山口 → 磐梯山 → 八方台登山口〕

所要時間：4時間20分

玉梨温泉 恵比寿屋[泊]

6月18日

浅草岳 [1,585m] 登山

浅草岳 登山〔ネズモチ平駐車場 → 桜ゾネ広場 → 浅草岳山頂 → ネズモチ平駐車場〕

所要時間：5時間50分

旅館とちをや[泊]

6月19日

魚沼観光【永林寺・西福寺】

旅館とちをや[泊]

6月20日

守門岳 [1,537m] 登山〔保久礼駐車場 → 大岳 → 守門岳 → 大岳 → 保久礼駐車場〕

所要時間：7時間10分

自在館[泊]

6月21日

八海山蔵元（魚沼の里）・八海山ロープウェイ・ドナルド キーン センター

清廣館[泊]

6月22日

北方文化博物館・新潟ふるさと村・マリニピア日本海

+ 花の名所監修：田村 真理子

+ 写真 & 文書：岡村 繁雄

6月15日 五色沼

今年は、九州はまだ梅雨に入っていないが東北はすでに梅雨の真っただ中、裏磐梯ビジターセンターでレンタル長靴〔1足¥300〕を借りての散策となった。



裏磐梯ビジターセンター



雨の中出発



昆沙門沼周辺遊歩道



小雨の降る中、ほぼ平坦な五色沼の散策路を約1時間30分で横断、帰りは裏磐梯高原駅のバス停からバスに乗車。

裏磐梯ビジターセンター前の五色沼入口バス停で下車の周回コース。



【ベニバナイチヤクソウ】



散策路



シダ類



パンフレットより抜粋

6月17日 磐梯山〔1,816m〕

ほとんど雨は上がったものの太陽は期待できないが、とりあえず山頂を目指して出発。
メンバーの一人は、体調を崩して車で留守番。



磐梯八方台登山口



【ウラジロヨウラク】



【タニウツギ】



【ミツガシワ】



この付近がお花畑のはずなのだが



【タニウツギ】



弘法清水小屋にて



山頂の祠前にて



【ミヤマダイコンソウ】



磐梯山頂標識 山頂祠の少し下にあり

バンダイクワガタは、磐梯山にのみ自生する固有種だそうで、言われてみないと見逃してしまいそうな地味な花で、山頂付近に雨に撃たれて咲いていた。

山頂直下の弘法清水小屋でぜんざい等を注文しゆっくりと休ませてもらう。

雨のせいで予想された虫もなく、景色は見えなかったものの登るには、やや肌寒い程度。

登り 2 時間 30 分、下りも雨のため足元が悪iseこともあり 1 時間 50 分の行程だった。



【バンダイクワガタ】

6月18日 浅草岳〔1,585m〕

稜線付近は、ところどころに残雪。

アイゼンを使用することもなく、数か所残雪を渡り山頂を目指した。

桜ゾネ広場からの桜曽根コースの登りには、足元に多くの種類の花が見られる。

雪解け後に一気に花が咲きだしたといった感じだった。



桜曽根コース 前方 前岳



前岳直下の木道の登り



稜線の残雪を進む



【フキ (ワタゲ)】



【オオバキスミレ】



【キクザキイチリンソウ】



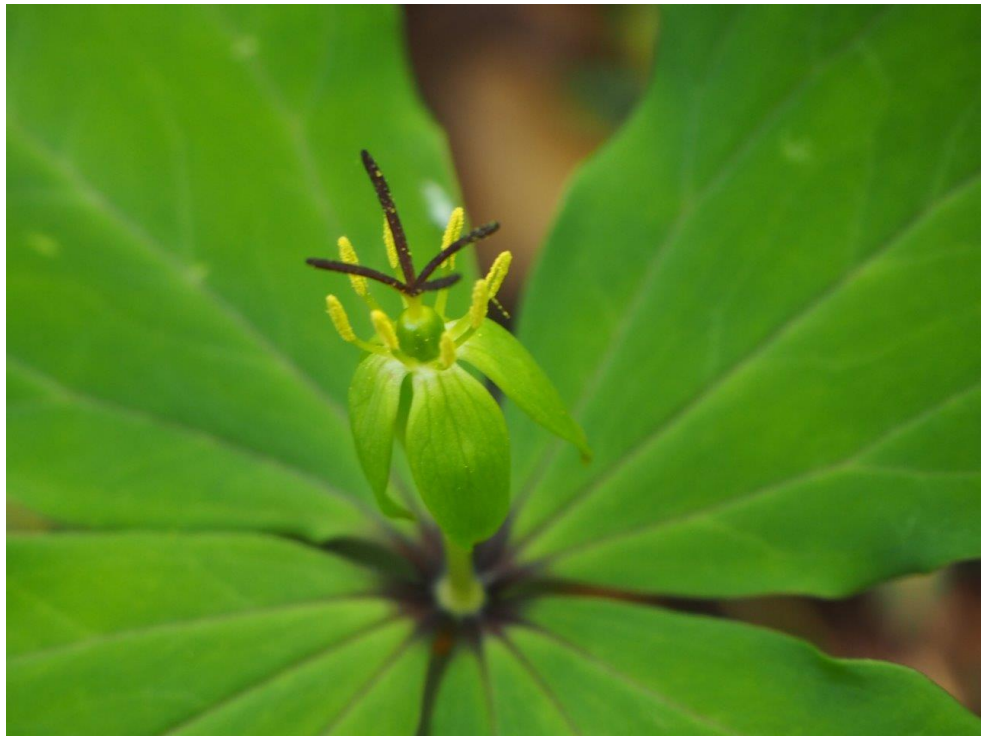
【サンカヨウ】



【ツバメオモト】



【イワカガミ】



【ツクバネソウ】



【ウラジロヨウラク】



【コゼンタチバナ】



【ショウジョウバカマ】

数日雨続きでやっと晴れて、登山日和となった。

浅草岳の山頂手前にヒメサユリのつぼみが数輪。

開花は、まだまだ先。

登り 3 時間 下り 2 時間 20 分
山頂での休憩も含め所要時間
5 時間 50 分の行程だった。



浅草岳山頂



【カンツバキ】



樺曽根コース下山途中 赤く色づいたモミジ？



稜線の木道にて 後方に守門岳を望む

6月20日 守門岳〔1,537m〕

大岳・青雲岳・袴岳の三つの山を総称して守門岳と称するとのことで、途中の掲示板にもこの三山が記載されていた。

整備された山道をかなり上り詰めたところに、保久礼登山口の広い駐車場があった。

駐車場より10分程下ったところに保久礼小屋。



保久礼登山口 駐車場



保久礼小屋

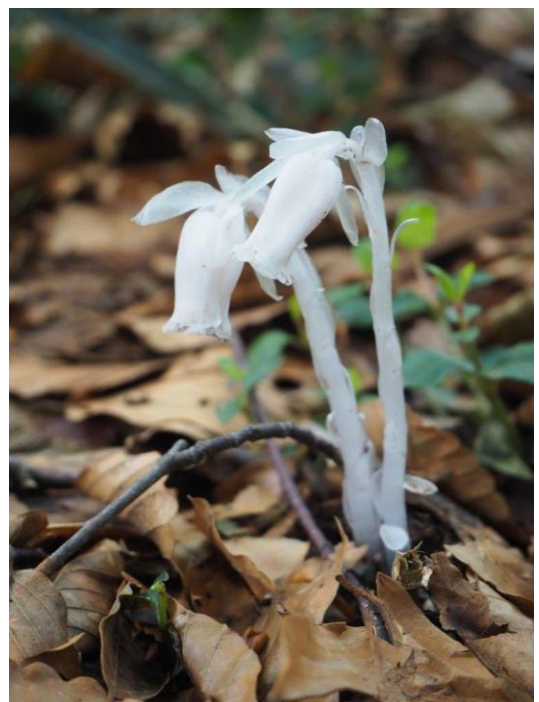


保久礼小屋の登山口から長い区間階段が整備されている。

(下山時の写真)



登山口に掲示されていた掲示板



【キンリョウソウ】



【ミツバオウレン】



【タムシバ】



【アオキ】



【オオカメノキ】



【ヤツオツツジ ?】



【ツクバネソウ】



【後方 守門岳】

大岳から青雲岳に向かう縦走路の下る所で、開花したヒメサユリが点在していた。
今回の山旅の大きな目的の一つがかなって、一同写真を撮るのに夢中。
なかなか前に進まない状況が続いた。



【ヒメサユリ】





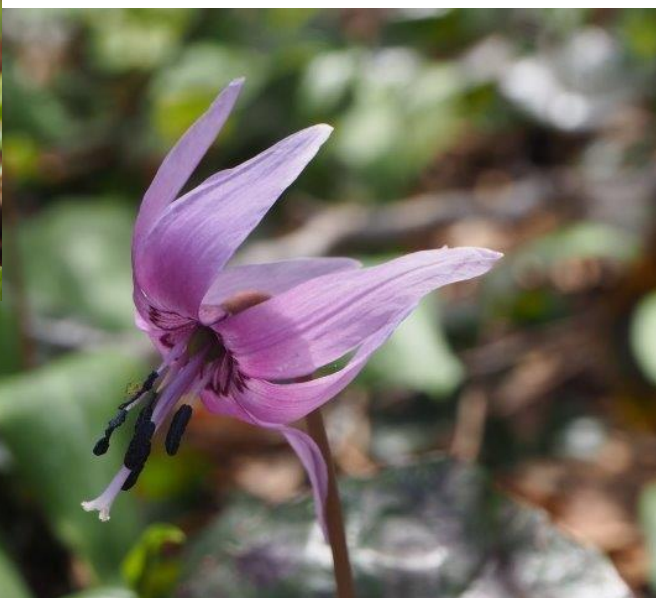
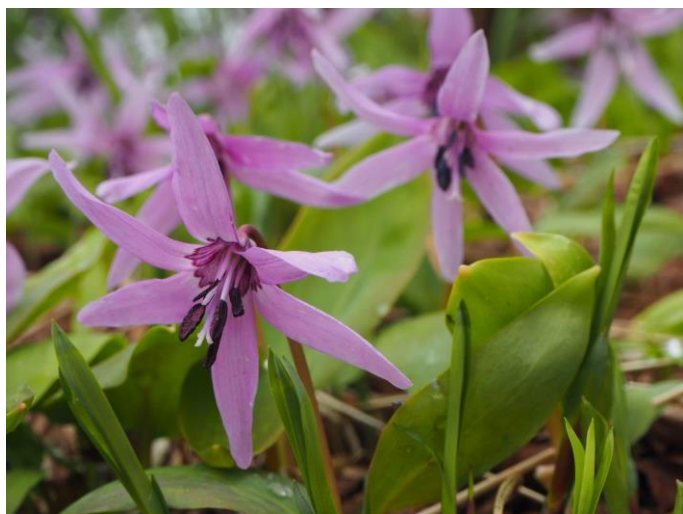
【コミヤマカタバミ】



【シラネアオイ】

縦走路の雪溪が解けたばかりの感じの斜面にカタクリの群落を見つけた。

ヒメサユリやカタクリとその他の花々が一斉に開花している感じで、なかなか九州ではこのような状況には遭遇できない。



【カタクリ】



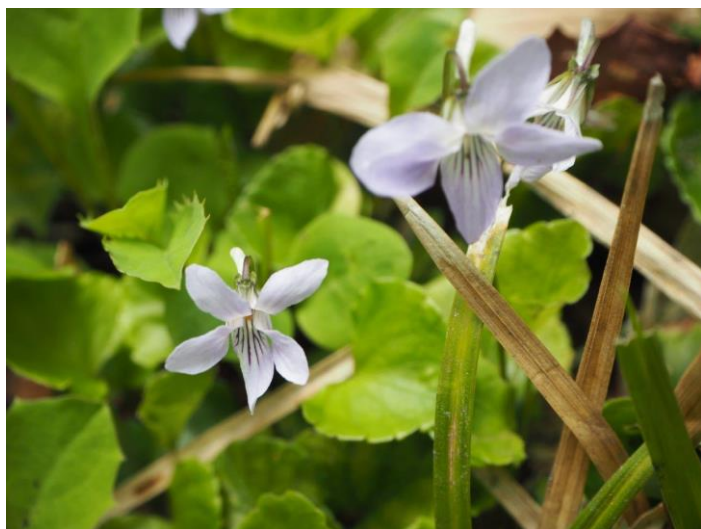
今回の各花の名称は、田村さんにより調べてもらったが、さすがにこのページのものは、名前がはっきりしないものがある。



【 ? 】



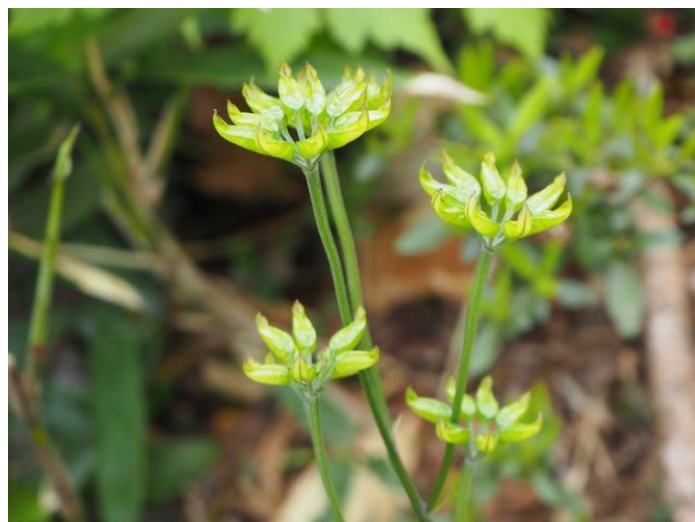
【トンボソウ ?】



【スミレ ?】



【ヒメシャガ】



【 ? 】



縦走路の残雪を横切って進む 前方 大岳



前方 守門岳（袴岳）
木道のわきの小さな池のわきに
ミズバショウが自生していた。



【ミズバショウ】





守門岳山頂



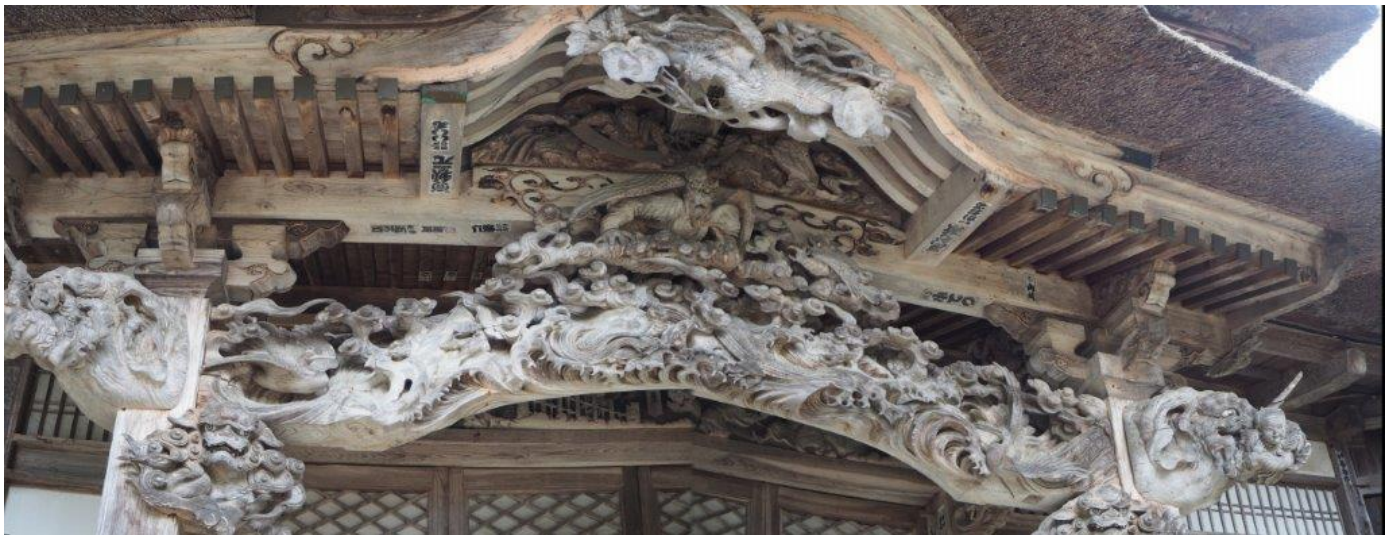
今回の山旅コース

新潟空港でレンタカーを借りての山旅で、山では思ったより花の種類も多く見ることが出来た。
宿では酒もおいしかったが何より白飯がおいしく、女性群は体重が増えたとぼやくほどで大満足な山旅であった。
皆さんお疲れ様でした。

番外編



御葉園



西福寺（本堂左の開山堂）





会津若松城



飯盛山（さざえ堂）





北方文化博物館



【マリニピア日本海】